

(陳受29第8号)

障害者入所施設建設事業の再検討を求めることに関する陳情

受理年月日

平成29年2月16日

陳情者

陳情の要旨

吉祥寺北町5丁目地域は約40年前ごみ焼却場用地として、市営プール地が発表されました。住民は、市民参加を望み、紆余曲折ありながら、現在の場所に焼却場が建てられ、武蔵野市全域のごみをこの地域で引き受けているわけです。

昨年、障害者入所施設建設を北町自転車保管場所にと知ったとき、ある日突然なぜ北町だけがごみを引き受け、今回も地元住民になるかもしれない、やりきれない思いがいたします。昨年11月8日に、建設予定地の限られた周辺住民だけに配られた説明会が開かれ、主催は武蔵野市と法人武蔵野(26名参加)。11月11日にはそのときの資料が一部住民に配られ、内容は6月に国庫補助内示、秋に着工とあり設計図まで、そして運営も含めてご理解ご協力をとあります。余りにも唐突で、現状ではほとんどの人たちがこのことを知らない状況が続いています。

私たちが説明会を開いてくださいとお願いしても、地域住民に対しては1回限りの説明会にもかかわらず、他方では施設の利用者説明会を12月に3回にわたり開いている。このありさまは何なのでしょう。情報が少なく、問題が共有されないまま計画が進んでいることへの不安、不信。協力だけ求められても、無理をすると将来に禍根を残し、コミュニティの破壊分断になりかねません。

なぜそんなに急ぐのか。施設の内容を知ることにも考える時間も与えないまま進めるのがよいと思えません。今回の入所施設建設計画は運営を含め、どこに建つにせよ地元住民の理解を得ながら、良好な関係を保つのが不可欠だと思います。急がば回れです。あらゆる情報を公開し、地元住民の合意を得ながら進めてください。用地についても、施設を利用する方、近隣住民にとっても、より広い場所が望ましいと思います。

以下のような疑問点、問題点が住民から持ち上がっています。

- 1 説明会をお願いしてから3か月、いまだに開かれないのはなぜか。
- 2 なぜこの用地でなければならないのか。理由や今までの経緯を明らかに。
- 3 現市長は市民と行政が一緒にまちづくり、そのプロセスを大切に、市民参加とありますが、今回の計画は情報公開もされず住民参加となっていない。

以上の趣旨より、以下のとおり陳情いたします。

記

吉祥寺北町5丁目の障害者入所施設建設に関して、用地を含め住民参加のもと、地域住民の合意を得、情報公開・説明会などじっくり時間をかけ、再検討をお願いします。